

嬉野中川

まちづくり ニュース



— 第92号 —

令和5年3月1日

嬉野中川まちづくり協議会

広報部

☎0598-67-8908

お知らせ

中川小学校からのお知らせです



令和5年度から始まるコミュニティースクールの方向性について

中川小学校 校長 尾崎佳広

今回は、嬉野中学校校区で令和4年度からコミュニティースクールを始めている豊田小学校と嬉野中学校の取組について、それぞれ紹介したいと思います。

◎豊田小学校では図書室のリニューアルに向けて、児童と大人による委員会を立ち上げ、計画・実行についてお互いに意見を交わしながら進めてきました。具体的には、設計図や発注、地域、看板といった各チームに別れて進めました。



◎嬉野中学校では「嬉野学」の取組を進めています。嬉野ブランド、身近な福祉、消防署の仕事、中川駅周辺のまちづくり、松阪市が目指す未来像、地域おこし協力隊、災害時の給水対策などのテーマを設定し、地元嬉野について学び、自分たちの考えを追究していきます。テーマに応じて、発展及び体験をしていくために校外学習にも取り組んでいます。



◎中川小学校での5年度実施に向けてのコミュニティースクール（CS）の方向性について

学校が積極的に地域と連携、協働することは、授業内容の質を高め、生活指導等の面での充実など、プラスに作用します。校内の担当者とコミュニティースクールコーディネーターとの定期的で密な連絡調整により、学校の支援ニーズや地域情報の収集が可能となり、企画の実施に向けた取組が円滑に行えるようになります。

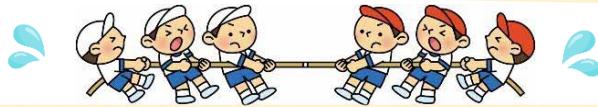
地域の方と学校が顔を合わせて話し合い、学校には今どんな課題があるのかを知っていただき、地域はそれに対して何ができるのかを考え、また、学校では地域が抱える課題を知って、学校としてどのような役割を担えるのかを考え、それぞれ実践して行くことが大切だと思います。

地域と学校がお互いの課題を共有する段階にすぐに到達できるわけではありません。お互いを知ることから始めていきたいと思っています。無理のない活動から徐々にその幅を広げる中で、地域住民の方々に参画をしていただき、学校との連携を強化し、発展していくことを切に願っております。

地域のみな様には、これまでも登下校の見守りや学校周辺の環境整備。昔遊び体験や苺づくり、お店や公共施設の見学といった今まで地域の方々のご協力をいただいて進めてきた体験学習は、これからも続けてまいりたいと思います。

今後は、学習支援や読書室の整備など、子どもたちのニーズや地域の特性に応じた実行可能な活動からスタートしてみたいと思います。どうかご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和4年度中川小学校綱引き大会支援事業開催



令和4年12月13日(火)中川小学校体育館で中川小学校綱引き大会が開催されました。

コロナ禍で綱引き大会は3年ぶりの開催になりましたが、元気な中川小学校の皆さんと無事開催する事ができました。各学年トーナメント方式で戦っていただき、優勝目指して奮闘していただきました。

総評として尾崎校長よりコロナを吹き飛ばすような児童の皆さんの元気を褒め称えられました。

開催後、児童の皆さんからお手紙をいただきましたのでご紹介させていただきます。

参加いただいた児童の皆さん、準備等にご協力いただいた先生方、体育部員並びに体育委員の皆さん本当にありがとうございました。 『体育部会』

中川町づくり協議会 みなさんへ

先日は、中川小学校のために綱引き大会を開催していただきありがとうございます。

この大会を通してクラスメイトとの仲が深まり、全員で一致団結できたと思います。

自分のクラスのチームが勝つと、みんなで喜び

が合い、負けてしまうと悔しめ合い、いろんな

感情を同じ空間で分かち合えることは素

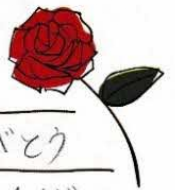
晴らしいことだと思います。

来年度もこのような楽しい取り組みに参加

したいと思います。本当にありがとうございます。



Fight!



つなひき大会をしてくださりありがとうございました。3年ぶりで見なさんが体育館に集まっていたことで、5、6年生のみんなも楽しそうでした。ぼくたち5竹のみんなは1回しか勝っていません。たけど負けた後もみんな楽しそうに応援していたと思うし、他のクラスの人たちもがんばったり、楽しそうにしていたと思うのでよかったです。本当に



●がんばれ!●



●がんばれ!●